

# 神奈川県微生物検査情報

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/eiseisomu/eiken/infectionC.htm>

神奈川県衛生研究所

第110号

(2002年 5月)

平成14年 7月10日発行

## 細菌関連情報

腸管出血性大腸菌(O157:H7 Stx1,2)が11名(小田原保健所管内10名および衛生研究所1名)から分離された。患者および保菌者はいずれも小田原保健所管内の在住者であり分離された11株についてDNA解析を行ったところ、すべての株のDNAパターンが一致したことから共通の感染源が疑われた。また、このDNAパターンは昨年首都圏で発生した「和風キムチ」事例のパターンと同一であることを確認した。

茅ヶ崎保健所管内では2類感染症菌である赤痢菌(*Shigella sonnei*)が1件分離された。患者の渡航先はタイ・ネパールであった。

感染症発生動向調査では、感染性胃腸炎患者より *Escherichia coli* O1(1株)、O86(1株)、O157(1株、前述)が分離された。なお、*E. coli* O157以外の *E. coli*(2株)は *stx* 遺伝子を保持していなかった。

A群レンサ球菌咽頭炎患者よりA群溶レン菌1株が分離された。血清型はT25型であった。

淋菌感染症患者より *Neisseria gonorrhoeae* が2株分離された。いずれもペニシリナーゼ非産生株であった。

## 食品検出情報

衛生研究所で行った鶏肉(20検体)の汚染実態調査から、バンコマイシン耐性腸球菌1件、サルモネラ4件が分離された。バンコマイシン耐性腸球菌は、バンコマイシンに対する感受性値が32 µg/ml以上、薬剤耐性遺伝子である *van A* 遺伝子を保持していた。サルモネラはO4群(血清型 Heidelberg)2件、O7群(血清型 Infantis)1件およびO8群(血清型 Istanbul)1件であった。

## 環境検出情報

小田原保健所で浴槽水6件、冷却塔水1件、茅ヶ崎保健所で浴槽水1件から、レジオネラ菌が分離された。浴槽水7件のうち4件(小田原3件、茅ヶ崎1件)は複数の血清型菌が分離された。

河川水腸管系病原菌調査では、毎月県内の10定点について腸管系病原菌の調査を行っており、*V. cholerae* non-O1&O139 1件、サルモネラ O7群(Montevideo)1件が分離された。

(細菌病理部)

## ウイルス関連情報

検査定点より依頼のあった感染性胃腸炎患者1名について検査を実施したところ、ロタウイルスが検出された。

検査定点より依頼のあった手足口病患者の咽頭拭い液2検体について検査を実施したところ、1検体からエンテロウイルス71型が分離された。

(ウイルス部)

表1 菌種・菌型別病原菌検出状況（ヒト由来）

（平成14年5月）

菌種・群・型	ヒト由来検出数											
	1月		2月		3月		4月		5月		平成14年累計	
	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者	総数	内海外渡航者
EHEC/VTEC									11		11	
EPEC	2		3		2		2		2		11	
<i>Salmonella</i> 08群	1										1	
<i>Salmonella</i> 09,46群			1								1	
<i>Campylobacter jejuni</i>	1		1								2	
<i>Staphylococcus aureus</i>	1		4								5	
<i>Streptococcus pyogenes</i> A群	4		1		3		1		1	1	10	1
<i>Neisseria meningitidis</i>							1				1	
<i>Neisseria gonorrhoeae</i>	9		3		4		2		2		20	
合計	18		13		9		6		16	1	62	1

表2 保健所・衛生研究所別病原菌検出状況及（ヒト由来）

（平成14年5月）

菌種・群・型	ヒト由来検出数												計	
	平塚	鎌倉	藤沢	小田原	茅ヶ崎	三崎	秦野	厚木	大和	足柄上	津久井	小計		衛生研究所
EHEC/VTEC				10								10	1	11
EPEC													2	2
<i>Shigella sonnei</i>					1							1		1
<i>Streptococcus pyogenes</i> A群													1	1
<i>Neisseria gonorrhoeae</i>													2	2
合計				10	1							11	6	17

表3 保健所・衛生研究所別病原菌検出状況（食品由来）

（平成14年5月）

コード	菌種・群・型	食品由来検出数												計	
		平塚	鎌倉	藤沢	小田原	茅ヶ崎	三崎	秦野	厚木	大和	足柄上	津久井	小計		衛生研究所
014	<i>Salmonella</i> 04群													2	2
015	<i>Salmonella</i> 07群													1	1
016	<i>Salmonella</i> 08群													1	1
999	その他の細菌(VRE)													1	1
	合計													5	0

表4 保健所・衛生研究所別病原菌検出状況（環境由来）

（平成14年5月）

菌種・群・型	環境由来検出数													計
	平塚	鎌倉	藤沢	小田原	茅ヶ崎	三崎	秦野	厚木	大和	足柄上	津久井	小計	衛生研究所	
<i>Salmonella</i> 07群													1	1
<i>Vibrio cholerae</i> non-01 & 0139													1	1
<i>Legionella pneumophila</i> 1群				3								3		3
<i>Legionella pneumophila</i> 4群				2								2		2
<i>Legionella pneumophila</i> 5群					1							1		1
<i>Legionella pneumophila</i> 6群				1	1							2		2
<i>Legionella pneumophila</i> 型別不能				4								4		4
合計				10	2							12	2	14

表5 保健所・衛生研究所別検査数

（平成14年5月）

検査材料 検査所	ヒト		食品	環境	計
	総数	内海外渡航者			
平塚	810		15	4	829
鎌倉	491		11	20	522
藤沢	488	1	5	6	499
小田原	2,290		124	32	2,446
茅ヶ崎	492	1	11	3	506
三崎	108		9	10	127
秦野	301		31	8	340
厚木	294		25		319
大和	338		3	1	342
足柄上	218		10		228
津久井	147		11		158
小計	5,977	2	255	84	6,316
衛生研究所	16		26	12	54
計	5,993	2	281	96	6,370

表6 ウイルス検出状況（月別）

（平成14年6月28日現在検出分）

検出ウイルス	月						平成14年計
	1月	2月	3月	4月	5月		
インフルエンザ AH1	14	28	3				45
インフルエンザ AH3	28	47	7				82
インフルエンザ B		3	4				7
ポリオ 3				1			1
コクサッキー A16	4						4
エンテロ 71				1	1		2
ムンプス		1					1
アデノ 3	1	1					2
アデノ 6		1					1
単純ヘルペス 1	1			1			2
口 夕					1		1
小型球形		3		4			7
ノーウォーク	3	28		24			55
未同定	1	1					2
合計	52	113	14	31	2		212

表7 ウイルス検出状況（疾患別）

（平成14年6月28日現在検出分）

疾患名	麻疹様疾患	流行性耳下腺炎	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギナ	インフルエンザ様	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	急性出血性結膜炎	無菌性髄膜炎	急性性脳炎	食中毒	その他	合計
エンテロ 71				1										1
口 夕			1											1
未同定														
合計			1	1										2